



2023年3月17日

各位

会社名 株式会社ニッカトー  
 代表者名 大西 宏司  
 (コード番号：5367 プライム市場)  
 問合せ先 経理部 濱田 悦男  
 (TEL：072-238-3641)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月1日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。株式会社東京証券取引所（以下「東証」）による2023年1月11日付での通知（「上場維持基準（売買代金基準）への適合状況について」）において、当該基準は現時点で未達の状況にあり、2022年12月末時点における計画の進捗状況を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の進捗および計画期間

当社のプライム市場維持基準に不適合となった「流通株式時価総額」「1日平均売買代金」について、2025年3月期の適合に向けた計画書に基づき取り組んでおります。当社の2022年12月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「1日平均売買代金」について上場維持基準は未達の状況にありますが、引続きあらゆるコーポレート・アクションを検討するとともに、中期経営計画【CONNCT25】に則り上場維持基準の適合に向け鋭意取り組んでまいります。

		株主数 (人)	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金	純資産額
適合 状況 及び 推移	2021年6月末 時点※1	2,287人	76,285単位	5.4億円	62.8%	1,047万円	正
	2021年12月末 時点※2	—	—	—	—	1,172万円	正
	2022年3月末 時点※2	2,736人	78,914単位	4.7億円	65.0%	1,325万円 ※3 (2,194万円)	正
	2022年12月末 時点※4	—	—	—	—	1,446万円	正
上場維持基準		800人	20,000単位	10.0億円	3.5%	2,000万円	正
計画期間		—	—	2025年3月	—	2024年12月	—

※1 2021年6月末時点の当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 2021年12月末、2022年3月末時点の当社の適合状況は、2021年6月末の東証による算出方法にあわせて、株券等の分布状況等をもとに当社で試算を行ったものです。

※3 2022年3月末時点の直近3ヶ月間の売買代金につき当社で試算を行ったものです。

※4 2022年12月末時点の当社の適合状況は、東証が売買代金をもとに算出を行ったものです。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた計画書【CONNECT25】に基づく進捗状況及び課題と今後の取組

	2021年度	2022年度				2023年度 計画	2024年度 計画
	実績	当初計画	修正計画	実績 ※2	進捗率		
売上高	9,979	10,000	10,500	7,980	76.0%	10,200	10,800
営業利益	972	700	1,000	870	87.0%	1,030	1,200
経常利益	1,028	720	1,040	925	88.9%	1,050	1,200
当期純利益	672	500	720	640	88.9%	720	820
営業利益率	9.7%	7.0%	9.5%	10.9%	-	10.1%	11.1%
配当	20円	15円	21円	10円	-	21円	24円
ROE	5.8%	4.3%	6.1%	7.2%	-	6.2%	7.0%

※1 業績数値単位：百万円

※2 2022年度実績値は、2022年度第3四半期の実績値となります。配当に関しましても上期実績値となります。また、ROEの数値に関しては第3四半期実績を通期換算して計算しております。

### ○2022年度実績状況

2022年度（2023年3月期第3四半期）は、ウクライナ危機の長期化や米中摩擦の悪化、為替レート of 急激な変動による不確実性の高まりもあり予断を許さない状況下にあります。エネルギー及び原材料の急激な高騰の影響を踏まえ、その影響を最小限にとどめるべく生産効率の追求及び販売価格への転嫁を継続的に取り組んでまいりました。

結果、当事業年度の当初計画に対して順調に推移し、昨年11月1日には修正計画を発表するに至っております。

また、IR展示会への出展や機関投資家との1on1ミーティングの充実、ホームページの刷新等により当社情報を積極的に発信し、新規株主の創出、企業価値の向上に努めてまいりました。

### ○課題と今後の取組

1日平均売買代金に関して、これまでの取組の効果もあり改善傾向にございますが、現時点で上場維持基準には届いておりません。

2023年度は、当社の創業110周年にあたり企業の更なる発展に向け、当社の事業モデルや今後の展望について積極的に情報発信し、ステークホルダーの皆様当社に対する理解を深めていただけるよう努めてまいります。【CONNECT25】の計画に関しましても順調に推移しており、現時点で計画の修正は想定しておりません。

今後も、【CONNNECT25】をベースに、サステナビリティ課題である「環境問題」「社会課題」への取り組みを強化していくとともに、将来の株式会社ニッカトーの継続的な価値創造に向け「人的資本」への投資に積極的に取り組み、企業価値の向上に努めます。

以上